［井原小］学校（５）年　**Ｒ５ふるさと教育・起業家教育の視点を取り入れた単元報告シート**　作成者名【原田　拓郎】

●●●●＝必ず記入　　○○○○＝計画に応じて該当するところを記入

めざす子ども像	心豊かでたくましい井原っ子の育成　かしこく（自ら考え表現する子）　やさしく（思いやり共に育つ子）　たくましく（力いっぱいやりぬく子）
学年・学期における探究課題	地域の伝統や文化とその継承に力を注ぐ人々「伝統文化」
単元名	「鬼マル２６　～鬼まつり・マルシェを盛り上げるぞ！　」（全５０時間＝実施時期：５月～１２月）
単元のねらい	地域伝統の祭りについて学習することを通して、よさやそれを継承する人々の想いについて理解し、どのような形で祭りに関わることができるのかについて試行錯誤しながら考え、実践していくことができる。

		課題設定	情報収集	整理・分析	まとめ・表現
主な活動		①昨年度の活動を振り返る ②鬼祭りについて話し合い、インタビューの計画を立てる。	③インタビューを行う。 ⑧ひとづくりネットワーク懇談会に参加する。	④インタビューして分かったこと、関わっている方の想いについてまとめ、鬼祭り参加方法についての提案を行う。 ⑨自分たちにできることについて考え、話し合う。	⑤鬼祭り参加の準備をする。 ⑥鬼祭りへ参加する。 ⑦振り返りを行う。 ⑩一年間の振り返りを行う。
仕掛け・工夫	**もの**			⑨夏休みに行われる「鬼面作り」に参加する。（希望者）	
	ひと	②鬼祭りについて調べることで、「井原町まちづくりの会」の方、鬼祭りに参加したことのある地域の方々を知る。	③鬼祭りについて調べることで、「井原町まちづくりの会」の方、鬼祭りに参加したことのある地域の方々と出会う。	⑨「井原町まちづくりの会」の方々に、提案を審査してもらう。	
	しごと（こと）				⑥「井原町まちづくりの会」がどうして発足したのかについて考え、地域の方々の想いについて知る。
	その他				
引き出した姿	**いばら愛** （郷土愛と当事者性）	②地域の祭りについて話し合うことで、興味関心が高まる。	③鬼祭りについて、興味関心を高め、自分たちも参加してみたいと思える。	⑨井原町のために自分たちにできることについて考え、準備をする。	⑥鬼祭りへ参加することで、地域の祭りや行事を絶やさず伝えていくことの大切さについて考える。
	やり抜く力 （向上心と忍耐力）			④思考ツールを活用してインタビューをまとめ、自分たちにもできることについて話し合い、提案する。	
	まき込む力 （発信力と協働性）	②知らないこともたくさんあることに気付くことで、誰に質問すればよいか、考え、関わりをもとうとする。	⑧鬼祭りに参加したことをきっかけに、地域の方々の想いをもっと知りたいと思う。		
アウトプットの工夫					

◆　実際に関連付けた教科・領域、学校行事等

国語科
「きいて、きいて、きいてみよう」「目的に応じて引用するとき」「みんなが過ごしやすい町へ」
「よりよい学校生活のために」

◆　実際に連携・接続・交流した他学年、他校（園）種、外部団体等

井原町まちづくりの会

〈R5〉井原小学校・５年

単元名『鬼マル26～鬼まつり・マルシェを盛り上げるぞ！（全50時間＝実施時期：5月～12月）』**の流れ（探究過程）と活動の実際　担当【原田　拓郎】**

◆**単元のねらい**「地域伝統の祭りについて学習することを通して、よさやそれを継承する人々の想いについて理解し、どのような形で祭りに関わることができるのかについて試行錯誤しながら考え、実践していくことができる。」

課題設定

鬼祭りに参加したことをきっかけに、井原町の未来について課題をもつ。

情報収集

ひとづくりネットワーク懇談会に参加する。

整理・分析

自分たちにできることについて考え、話し合う。

まとめ・表現

一年間の振り返りを行う。

課題設定

昨年度の活動を振り返る
鬼祭りについて話し合い、インタビューの計画を立てる。

情報収集

インタビューを行う。

整理・分析

インタビューして分かったこと、関わっている方の想いについてまとめ、鬼祭り参加方法についての提案を行う。

まとめ・表現

鬼祭り参加の準備をする。
鬼祭りへ参加する。
振り返りを行う。

◆成果（○）・課題（△）・来年度に向けて（☆）

○タブレットを使っての学習が定着した。グループで話し合いをする時にも、自主的に活用する姿を見ることができた。
○鬼面を作る案が児童から出た。鬼祭りの紹介方法も、児童が主体的に話を進め、活発な学習活動となった。
△☆振り返りには課題が残る。どんな力がついたのか、学習から学んだこと、感じたことについてもっと具体的に振り返る工夫が必要だった。
△☆教師主導で進めたことにも課題が残る。課題設定のタイミングで計画を立てる時間をしっかりとるべきであった。
☆児童が見通しをもち、主体的に活動できるようにするためにも、単元計画を、児童にも見える形で提示していく。